1　調査結果の概要

1.1　配布世帯数・回収率

5,000 世帯に配布を行い、1,876 世帯(ご家族を含めた人数は 4,713 人)の回答を得た、よって、回収率は 37.5%であった。

1.2　調査結果の概要

回答者の属性

・居住地区は、浅間地区の割合が約 28%で最も高くなっている。

・年齢は、60 歳台の割合が約 18%で最も高くなっている。

・職業は、約 4 割が会社員・公務員であった。

・運転免許は、86%が持っていると回答しており、ご自身で利用できる車・バイクは約 83%が持っていると回答している(下図参照)。年齢別では 20 歳台～70 歳台では約 9 割が運転免許を持っていると回答しており、80 歳台でも約 5 割が運転免許を持っていると回答している(下図参照)。年齢別の車・バイクの保有状況についてもほぼ同様の結果となっている。

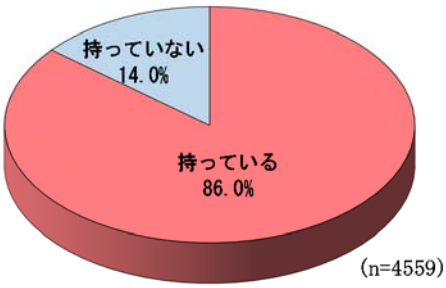


図. 運転免許の有無

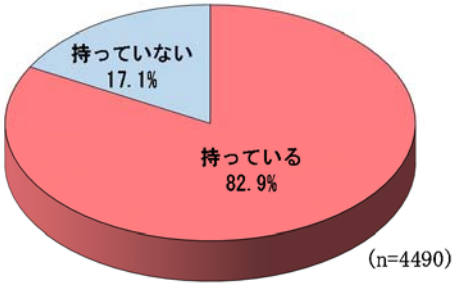


図. 自動車・バイクの所有有無

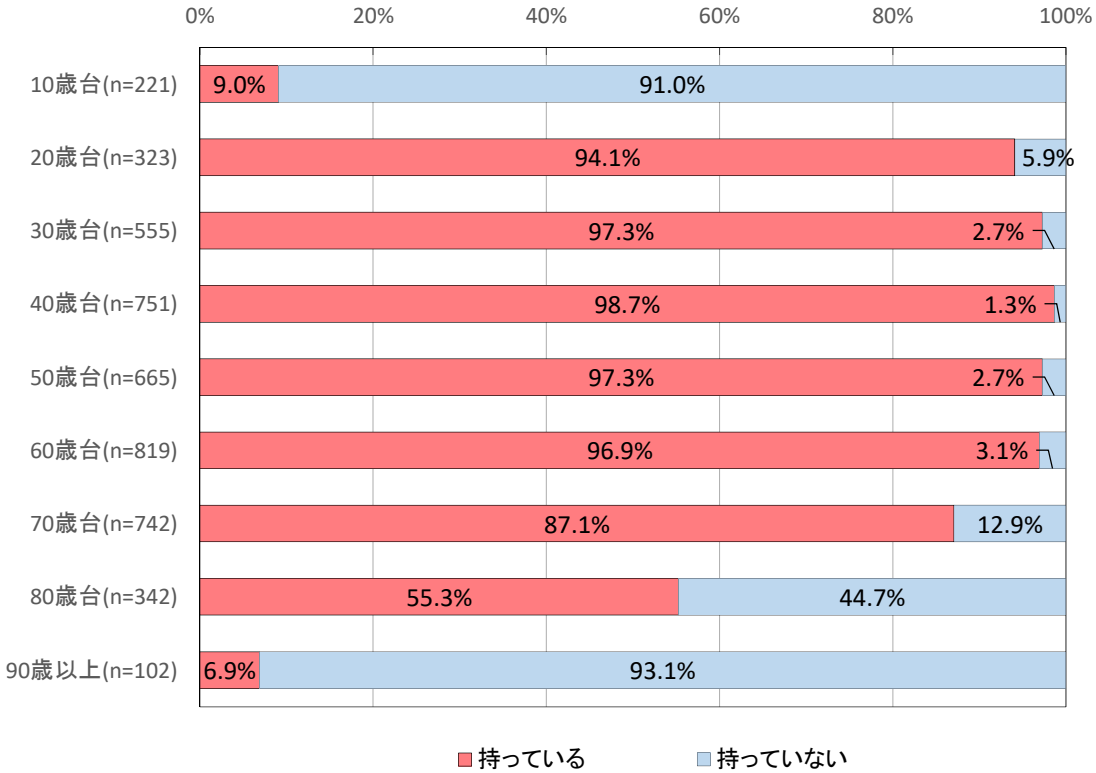


図. 運転免許の有無(年齢別)

最寄りのバス停と鉄道駅

・最寄りのバス停までの交通手段は、9 割以上が徒歩(下図参照)。

・最寄りの鉄道駅までの交通手段は約 5 割が徒歩で、バスは 0.5%に留まっている(下図参照)。

・最寄りのバス停までの所要時間は、5 分以上 8 分未満の割合が約 35%、10 分以上という回答も約 33%となっており、この 2 つで約 7 割を占めている。

・最寄りの鉄道駅までの所要時間は、15 分以上 30 分未満の割合が約 39%で、10 分以上 15 分未満という回答も約 24%となっており、この 2 つで約 6 割を占めている。

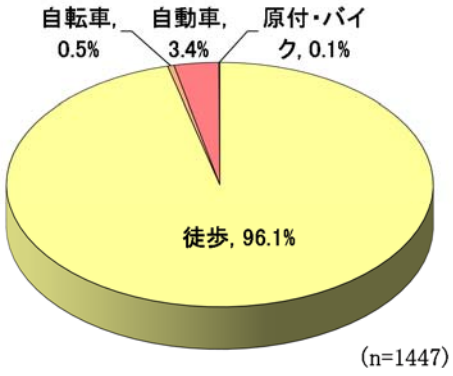


図. 最寄りのバス停までの交通手段

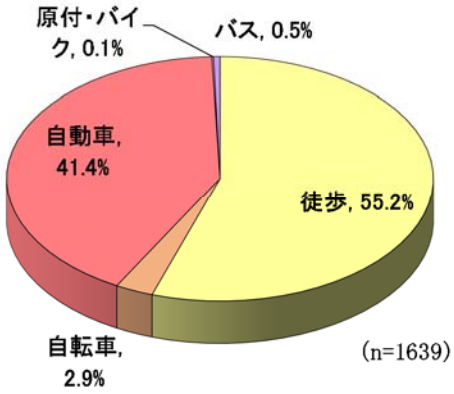


図. 最寄りの鉄道駅までの交通手段

日常生活における外出行動

・外出目的は、10 歳台から 50 歳台では、通勤または通学の割合が約 7 割以上を占めており、60 歳台では約 5 割が通勤、約 4 割が買い物を占め、70 歳台以上では買い物や通院の割合が高くなっている(下図参照)。

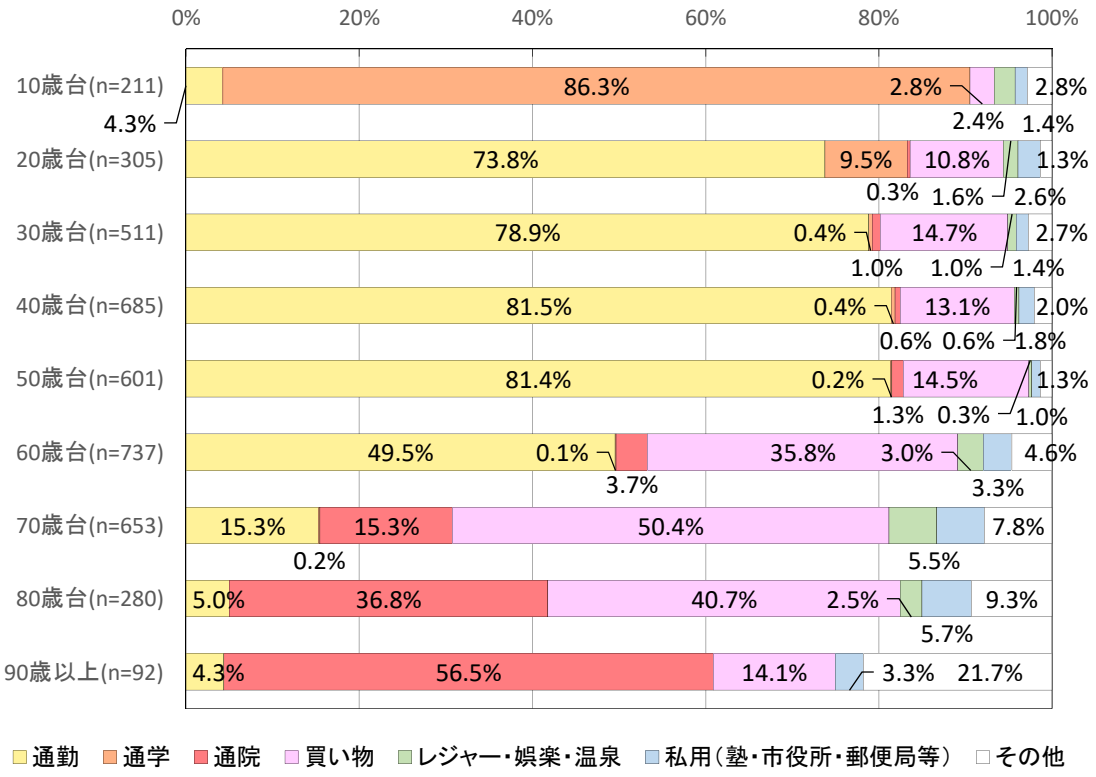


図. 外出目的(年齢別)

・外出先は、10 歳台では佐久平駅周辺、岩村田駅周辺、野沢バスセンター周辺がそれぞれ約 19%～24%、20 歳台から 70 歳台では佐久平駅周辺が約 25%～37%となっている。90 歳以上では、浅間総合病院の割合が約 19%となっている。

・外出頻度は、ほぼ毎日が約 66%となっている。外出目的別では、通院は、１ヶ月に１回程度が約 33%、１週間に１回程度が 28%となっており、この２つで約 6 割を占める。買い物、レジャー・娯楽・温泉、私用は、ほぼ毎日と 2～3 日に１回程度の２つで約 7 割を占める(下図参照)。

・外出目的別の外出時間は、通勤・通学は、午前 7 時～午前 8 時くらいに出発する人の割合が高く、17 時以降に帰宅する人の割合が高い。通院は、午前 8 時～午前 10 時くらいに出発する人の割合が高く、午前 11 時～12 時くらいに帰宅する人の割合が高い。買い物は、午前 9 時～午前 11 時くらいに出発する人の割合が高く、午前 11 時～12 時くらいに帰宅する人が多い。(下図参照)。

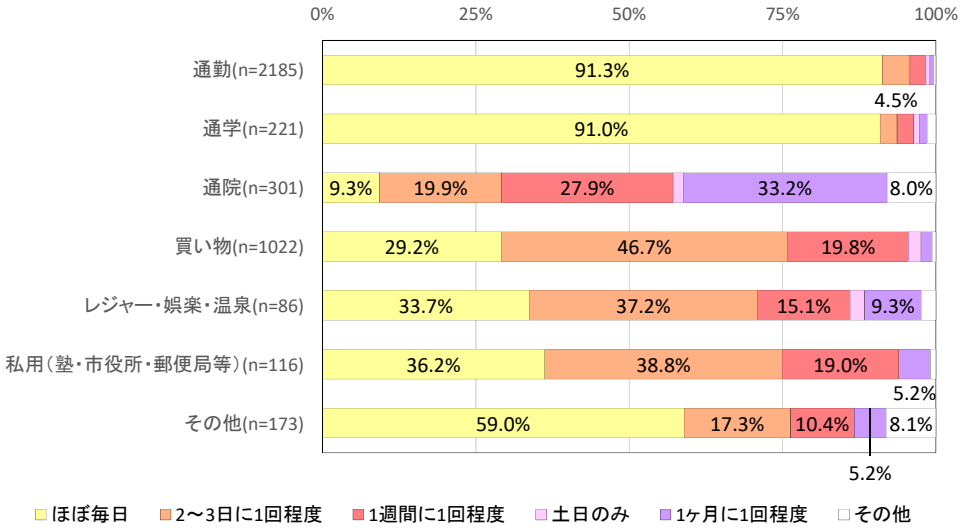


図. 外出頻度(外出目的別)

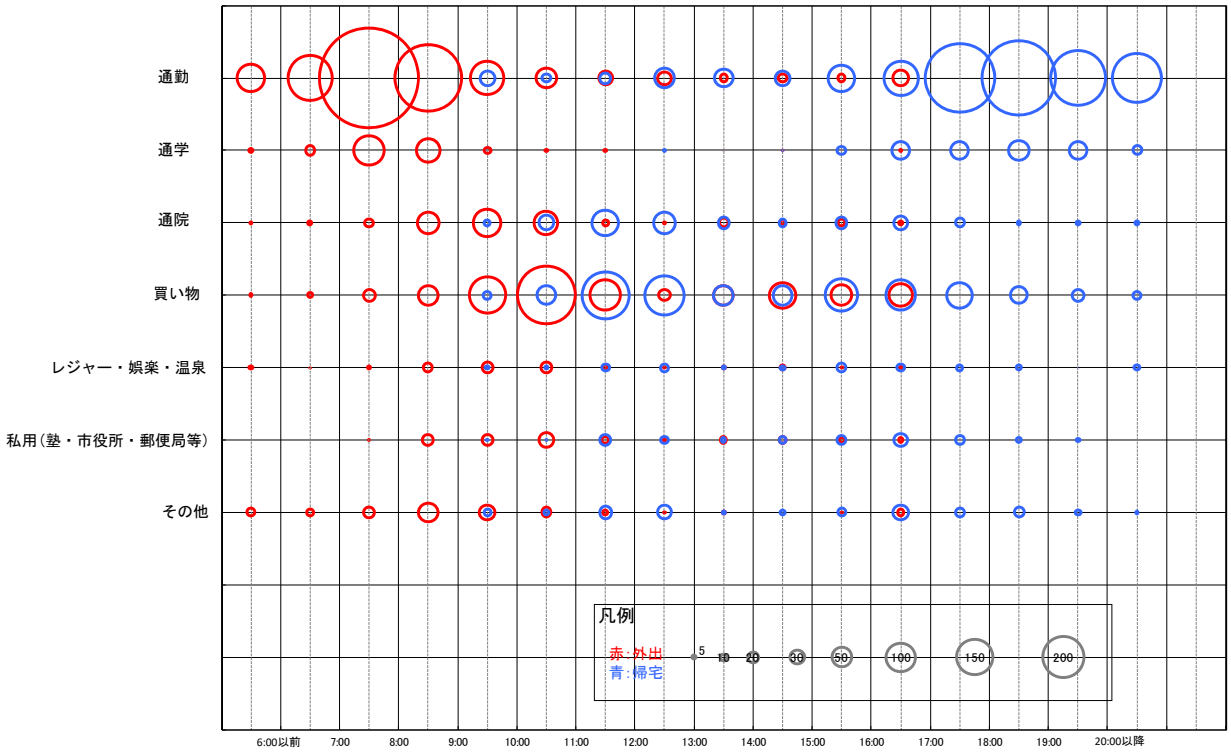


図. 外出目的別の行動時間帯

・外出の際の利用交通手段は、約 8 割が自身で自家用車を運転していると回答。年齢別にみると、30 歳台から 60 歳台では約 9 割が自身で運転、80 歳台でも約 5 割が自身で運転していると回答。家族が送迎の割合は、10 歳台と 80 歳台でそれぞれ約 3 割、90 歳以上では約 5 割となっている(下図参照)。

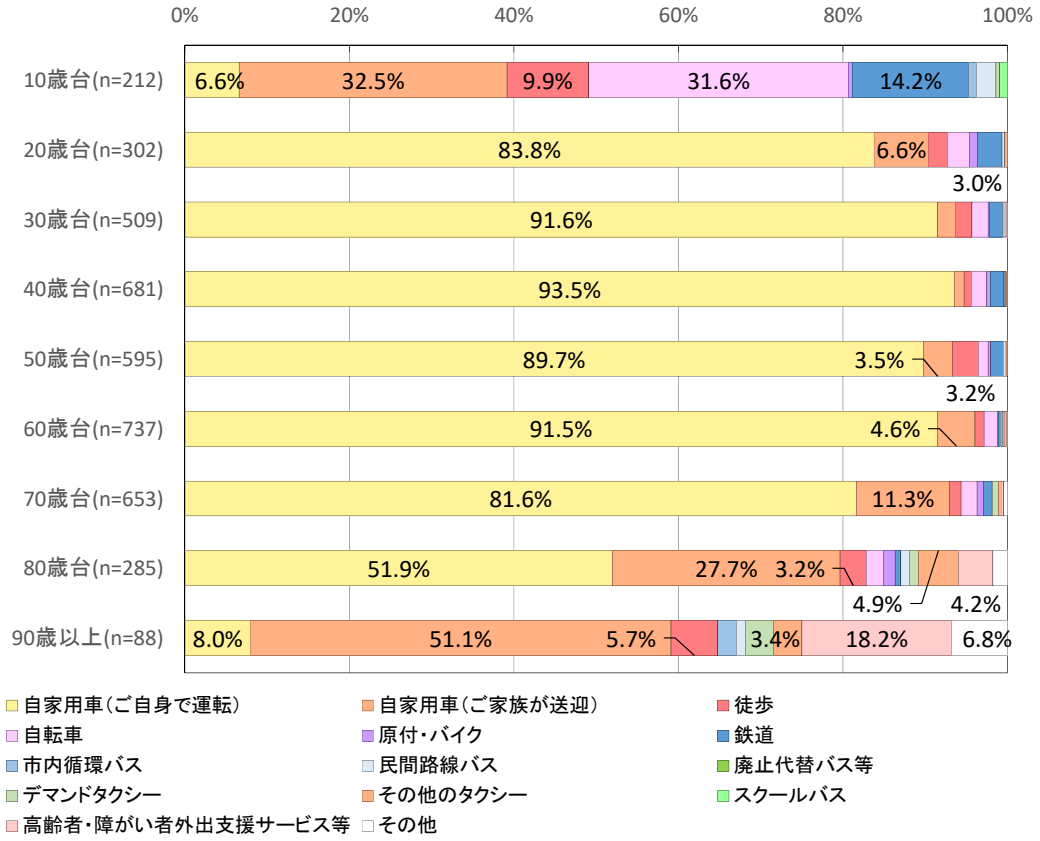


図. 外出の際の利用交通手段(年齢別)

バス・デマンドタクシーの利用状況

・令和２年４月以降にバス・デマンドタクシーを利用したことのある人の割合は、約 3%であった(下図参照)。居住地区別では、浅科地区と野沢地区で約 5%が利用しており、全体の割合よりも若干高くなっている。

(バス・デマンドタクシー利用者への質問)

・利用した目的は、通院が約 35%、買い物が約 25%となっており、この２つで約 6 割を占める(下図参照)。

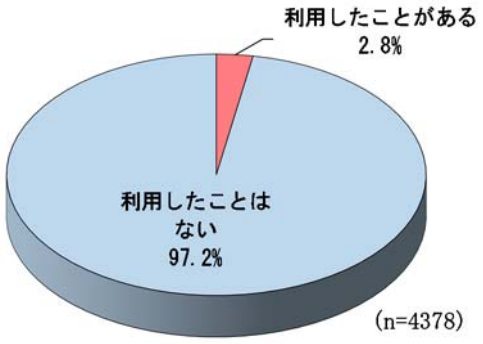
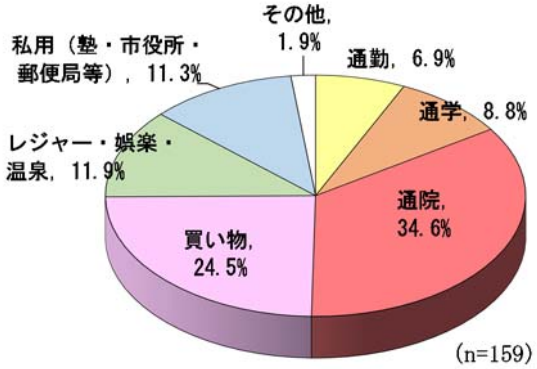


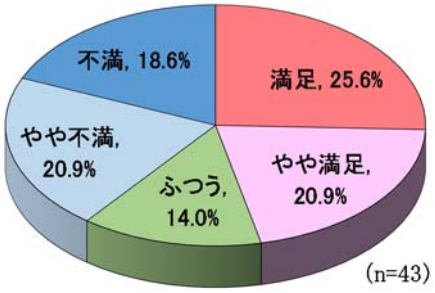
図. 回答者のバス・デマンドタクシーの利用の有無



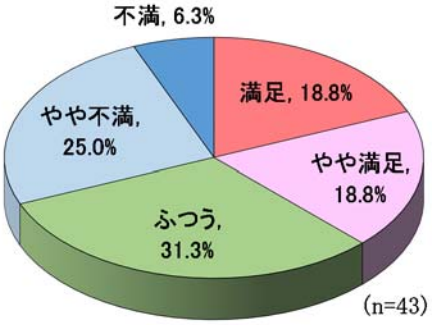
(バス・デマンドタクシー利用者のみ回答)

図. 利用目的

・利用して訪れた主な外出先は、病院(佐久医療センター、浅間総合病院、佐久総合病院)が約 4 割を占めている。
・利用した路線は、路線バスが約 74%でうち市内循環線(北循環線、南循環線)が約 4 割を占めている。デマンドタクシーは約 26%となっている。
・利用した路線の満足度(満足とやや満足の合計)は、市内循環バスが約 47%、デマンドタクシーが約 38%であった(下図参照)。
・運行に関する改善点は、市内循環バスとデマンドタクシーではそれぞれ約 3 割が「増便してほしい」と回答している。

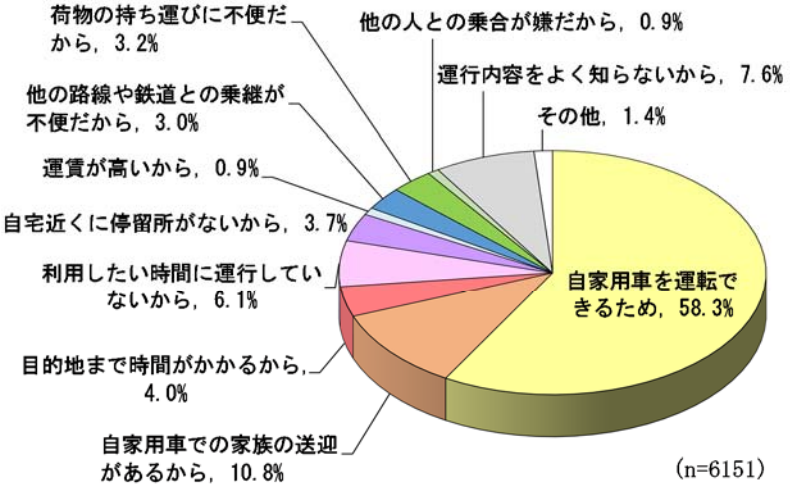


（バス・デマンドタクシー利用者のみ回答）
図. 市内循環バスの満足度



（バス・デマンドタクシー利用者のみ回答）
図. デマンドタクシーの満足度

（バス・デマンドタクシー非利用者への質問）
・利用しない理由は、約 6 割が「自家用車を運転できるため」と回答している(下図参照)。
・利用する条件としては、約 4 割が「自家用車を運転できなくなった場合」と回答している。



（バス・デマンドタクシー非利用者のみ回答）
図. 利用しない理由

市が運行を補助する費用と今後の公共交通のあり方について

・市が運行を補助する費用については、約 4 割が「現在の金額を維持し、現状の運行サービスを維持する」と回答している。

・公共交通については、約 8 割が「今は必要としていないが、将来的に必要となる交通手段である」と回答している。

・今後の公共交通のあり方については、約 4 割が「高齢者・障がい者外出支援サービスを拡充させる」と回答している(下図参照)。

・今後の公共交通に対する要望については「利用状況に合った車両で運行してほしい」の割合が約 23%で最も高く、次いで「Suica のような IC カードを導入してほしい」が約 14%となっている(下図参照)。

・公共交通利用促進に向けて大切だと思うことについては、「分かりやすい時刻表、路線図の作成・配布を行う」の割合が約 41%と最も高く、次いで「回数券の販売や運賃の半額等、公共交通を利用しやすい仕組みづくりを行う」が約 34%となっている(下図参照)。

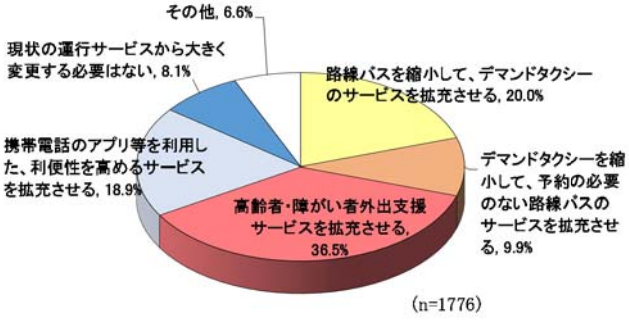


図. 今後の公共交通のあり方

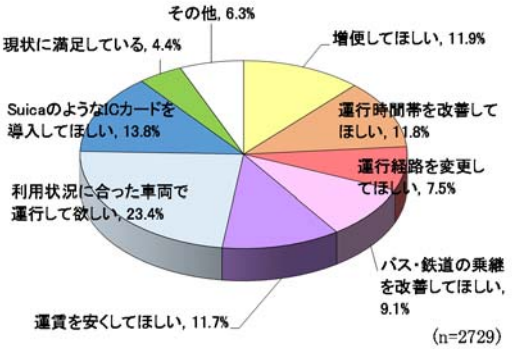


図. 今後の公共交通に対する要望

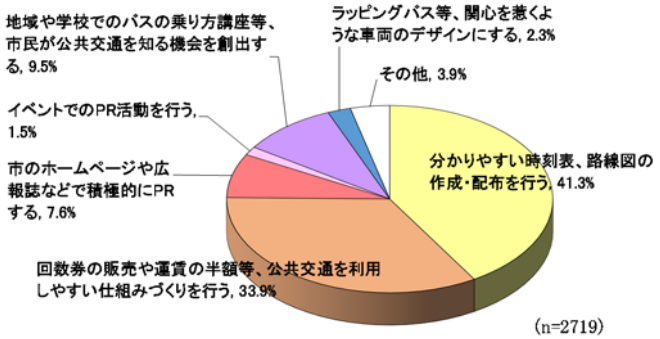


図. 公共交通利用促進に向けて大切だと思うこと

公共交通に関するご意見・ご要望

・市内で運行されている公共交通の内容を知らない、周知活動をもっと行う必要があるといった意見が多く、学校や公民館等でのバス・デマンドタクシーの利用方法や乗り方等の講座を実施してほしいといった意見も挙げられている。

・時刻表や路線図をもっと見やすいようにしてほしいといった意見やアプリや IC カードの導入を進めてほしいといった意見が複数挙げられている。

・路線バスに関しては、目的地まで時間がかかることや一部路線の運賃の改善を求める意見、デマンドタクシーに関しては、前日までの予約の改善を求める意見が複数挙げられている。

2 地区別クロス集計

バス・デマンドタクシーの利用有無

・すべての地区で利用したことはないの割合が約 95%以上となっている。

・利用したことがある割合は、浅科地区で 5.1%と最も高くなっており、次いで野沢地区で 4.7%となっている。

バス・デマンドタクシーの利用していない理由

・すべての地区で「自家用車の運転できるため」の割合が約 6 割を占めており、望月地区と野沢地区では、6 割を超えている。

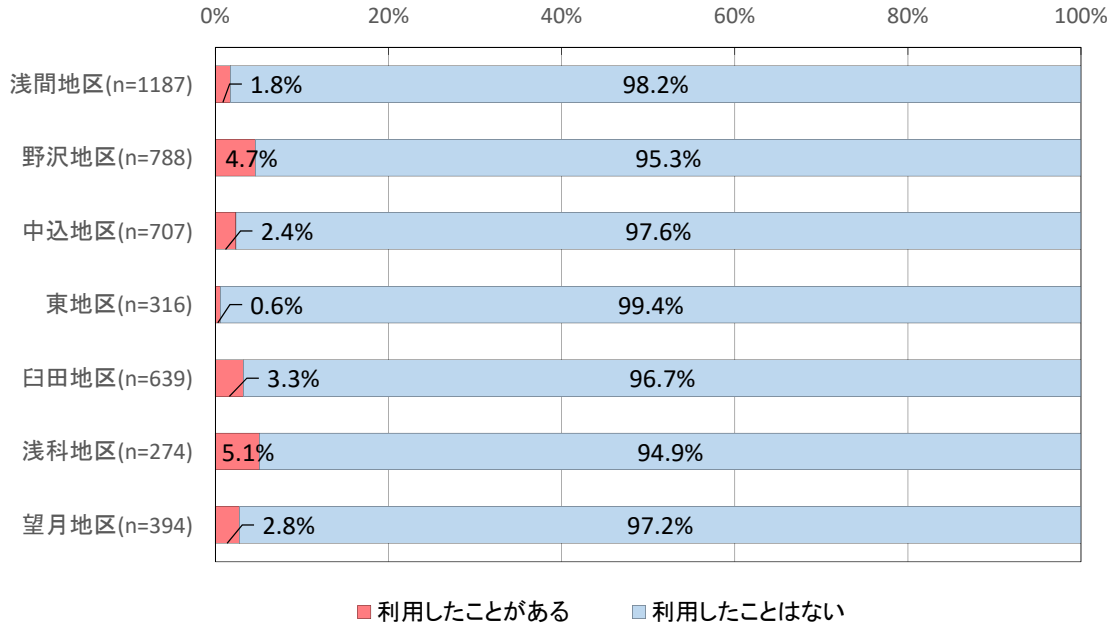


図. バス・デマンドタクシーの利用有無

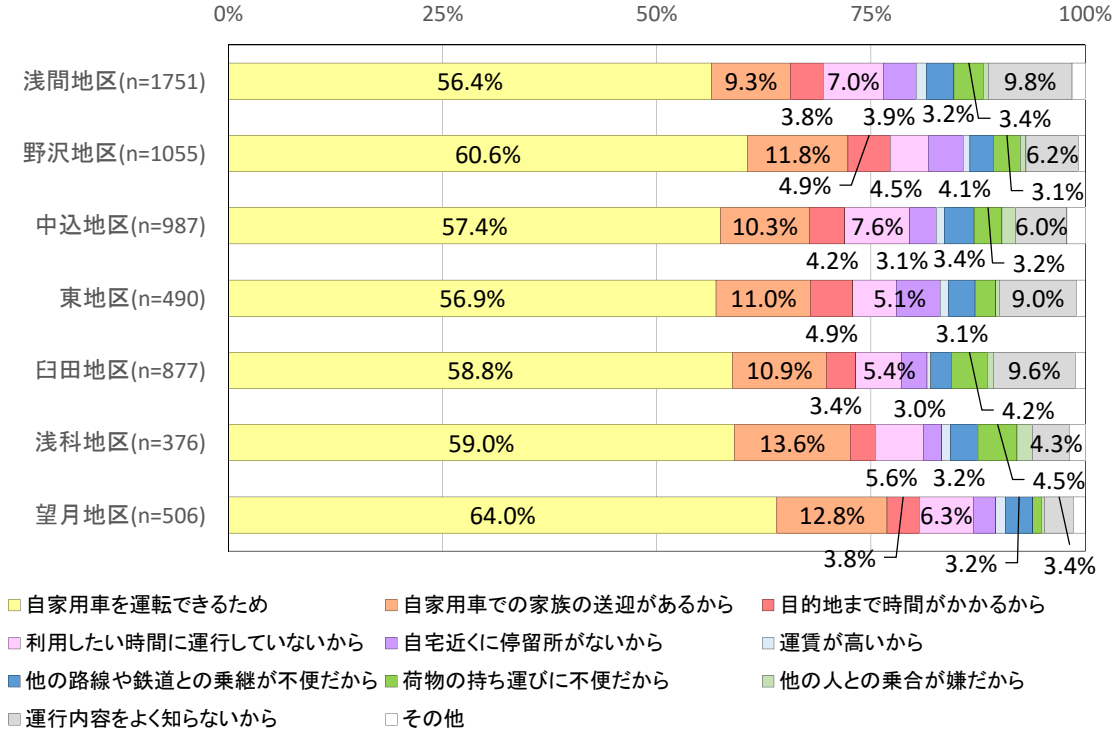


図. バス・デマンドタクシーを利用していない理由

公共交通とはどのようなものか

・すべての地区で「今は必要としていないが、将来的に必要となる交通手段である」の割合が 75%以上となっている。

・「現在でも必要不可欠で重要な移動手段である」の割合は、望月地区で約 15%と最も高くなっており、次いで臼田地区で約 14%となっている。

今後の公共交通のあり方

・すべての地区で「高齢者・障がい者外出支援サービスを拡充させる」の割合が約 31～38%と最も高くなっている。

・「路線バスを縮小して、デマンドタクシーのサービスを拡充させる」の割合は、望月地区で約 25%と最も高くなっている。

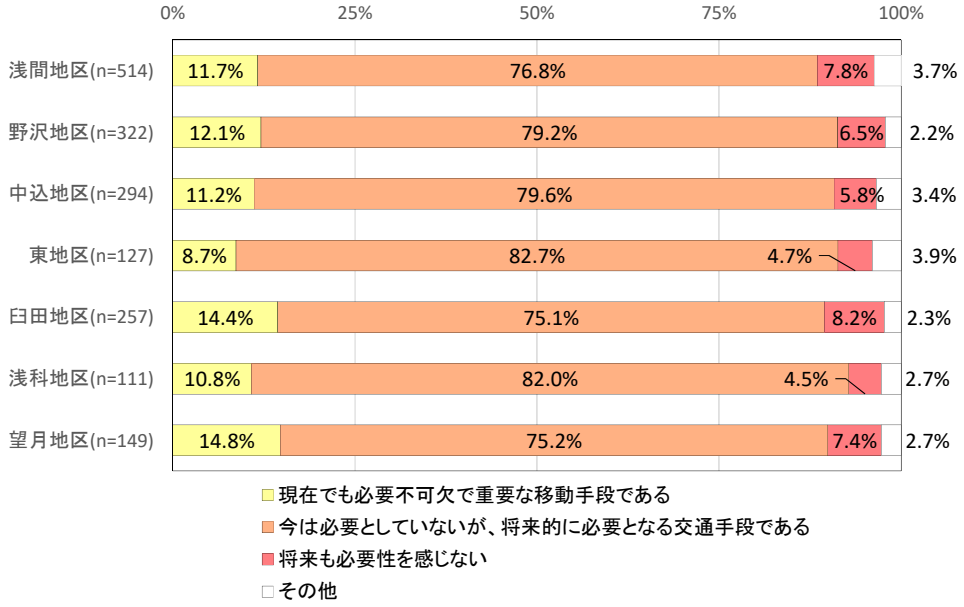


図. 公共交通とはどのようなものか

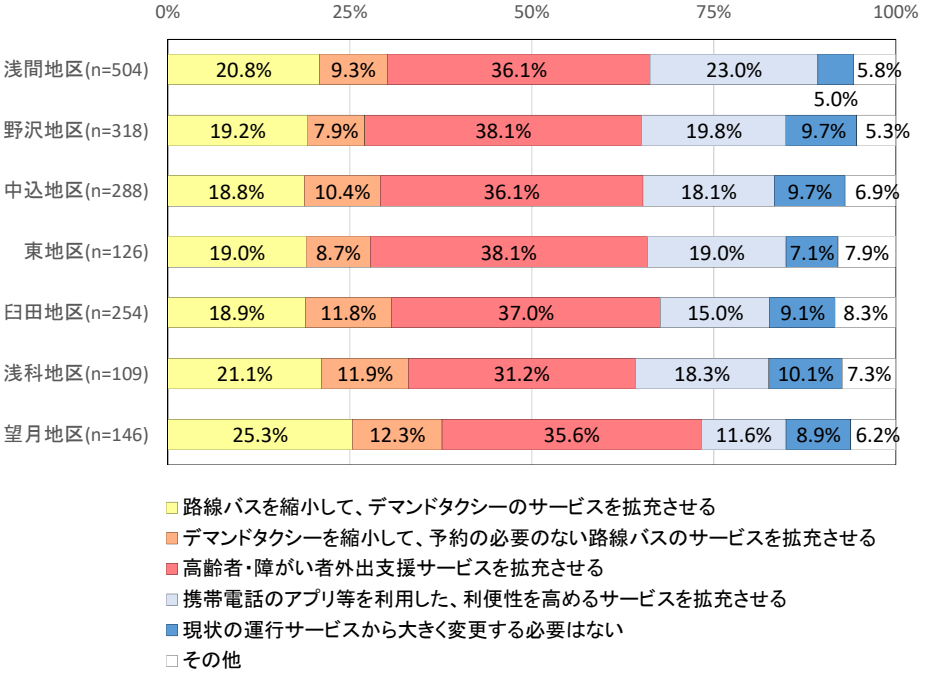


図. 今後の公共交通のあり方

今後の公共交通に対する要望

・すべての地区で「利用状況に合った車両で運行してほしい」の割合が約 20～30%と最も高くなっている。

・2 番目に高い項目としては、浅間地区、中込地区、東地区の 3 地区では「Suica のような IC カードを導入してほしい」で約 15～17%、臼田地区と望月地区では「運賃を安くしてほしい」で約 12～18%、野沢地区では「増便してほしい」で約 15%、浅科地区では「運行時間帯を改善してほしい」で約 17%となっている。

公共交通利用促進に向けて大切だと思うこと

・すべての地区で「分かりやすい時刻表、路線図の作成・配布を行う」の割合が約 39～44%と最も高くなっている。

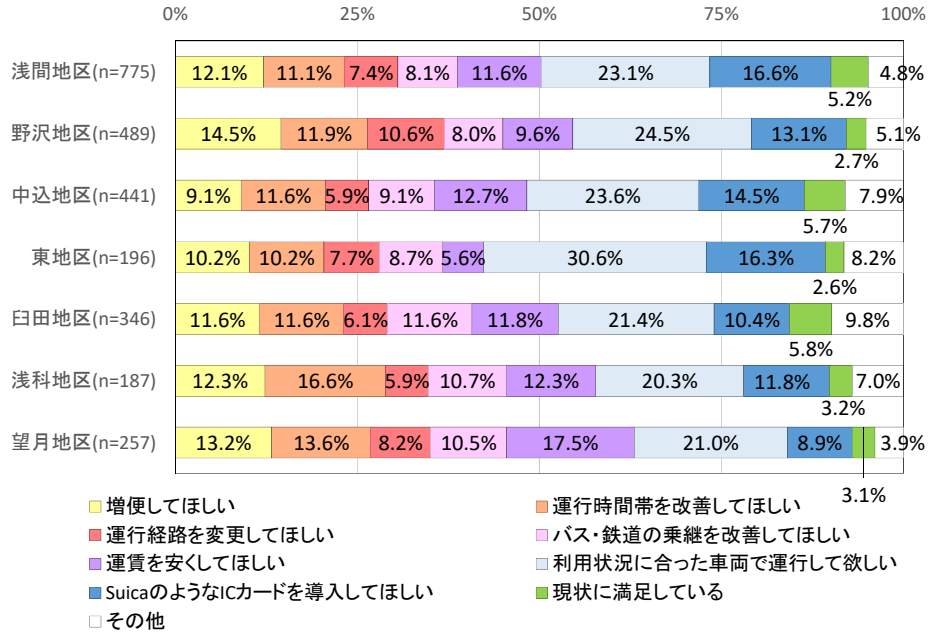


図. 今後の公共交通に対する要望

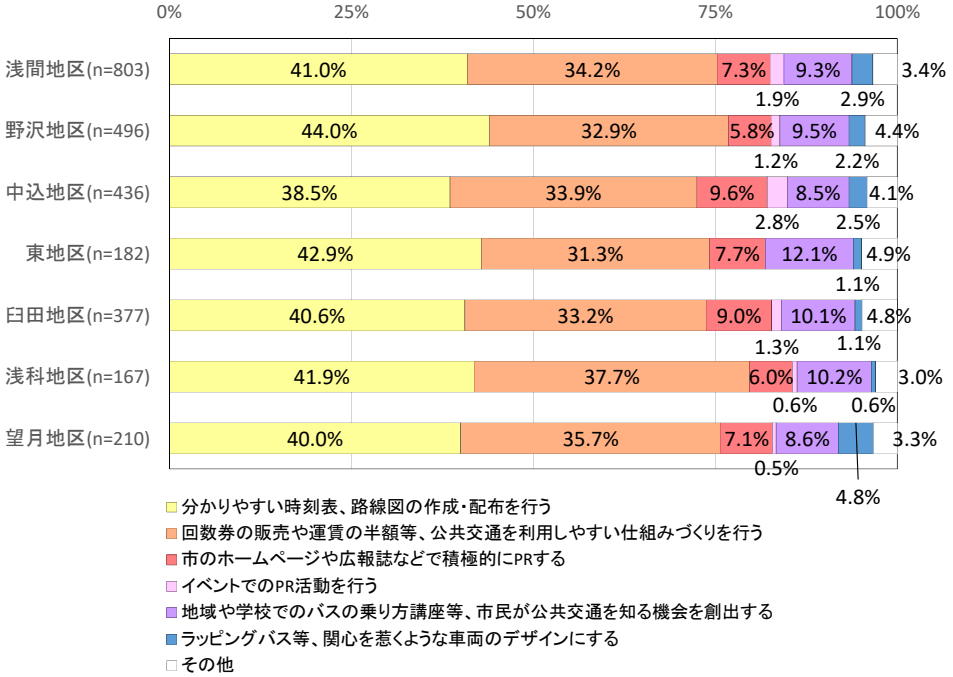


図. 公共交通利用促進に向けて大切だと思うこと